

# 業務の効率化で ゆとりを創出

## ひまわり

医療法人新生活会 介護老人保健施設

北九州市八幡西区町上津役東3-17-10

入所100名/デイケア35名

平成12年3月に開設。

リハビリテーションを集中的に提供し、  
自宅や施設への復帰を目指す「超強化型老健」。

## 応募の動機

職員が意見を交わしながら課題に取り組むボトムアップ型のコミュニケーションを目標としています。現場の声をもとに業務改善を行う北九州モデルの方向性に共感し、利用者対応の充実と働きやすい職場づくりを目指して応募しました。



## 取組の内容と現場の変化

| 取組内容  | 見守り                                                                         | 書類作成                                                  | 記録                                                                                        |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問題・課題 | 見守り・コール対応が負担                                                                | 時間がかかる                                                | 記録入力待ち時間が多い                                                                               |
| 取組    | ①各マニュアルの見直し、作成、整理<br>②見守りカメラを2台追加購入<br>③センサー使用状況を把握しやすくする                   | ①使用するタブレットを増やす<br>②担当者を明確化<br>③音声入力や骨伝導式イヤホンを導入       | ①役割表を作成し分担<br>②PC入力タイミングのルール化<br>③不要なログインによるアカウント占有を解消                                    |
| 効果    | ①マニュアルの見やすさ、探しやすさ改善<br>②見守りの負担 <b>20%減</b><br>③センサー使用状況把握の負担 <b>50~60%減</b> | ①待ち時間 <b>約50%減</b><br>②モニタリング資料作成時間 <b>平均60分→30分へ</b> | ①食事記録の入力重複 <b>約80~90%減</b><br>②入力待ち時間 <b>60分以上→20~30分へ</b><br>③不要なアカウント占有 <b>約60~70%減</b> |

## 現場の声が活かされる職場へ

現場への展開は**小さく始め、改善の意義を職員一人ひとり丁寧に伝えていきました**。取組が進むにつれ、見えていなかった現場の課題や負担について意見が出るようになり、**職員自身が課題を意識して現場を見るようになり**ました。また、テクノロジー機器の導入では**若手職員がけん引**する場面も多く、意見を出しやすい職場づくりにつながりました。

## 専門相談員が新しい機器の導入を後押し

インカムや音声入力の導入にあたり分らないことが多く不安でしたが、**専門相談員が先行施設の見学をセッティングしてくれました**。機器の保管方法やマニュアルなどについて教わり、現在もその施設にアドバイスをいただいています。機器導入の課題も、**期限を区切って取り組むようアドバイスいただき、モチベーションを維持**できました。

## 今後の展望

取組後、職員同士やご家族との情報共有を円滑にするシステムを導入しました。SNSのように手軽に使えるため、職員間の情報共有が進み、**役職を問わずフラットに情報発信**できる環境が整ってきています。ご家族とのやり取りでも、契約書などの確認が迅速になり、**残業時間の削減**につながりました。今後もさらなるシステムの導入を検討しています。**記録や情報共有など業務の効率化でゆとりを創出する**システム導入のメリットを最大限に生かすため、館内Wi-Fiの整備も進める予定です。

